

平成23年度事業計画書

平成23年度社団法人宮崎県物産貿易振興センターの運営方針

1 現 状

当センターを取り巻く環境は、この1年で大きく様変わりした。本県においては、昨年度、口蹄疫や鳥インフルエンザの発生、新燃岳噴火の降灰による被害を相次いで受け、農林水産業をはじめとして本県経済は大きな打撃を受けた。さらに、1月末には4年間にわたり宮崎ブームの牽引役であった東国原知事が退任し、県庁観光客が減少した。これらが複合的な要因となって、みやざき物産館の売上は大きく減少している。

さらに、東日本太平洋沿岸地域では、3月11日に未曾有の大震災が発生し、多くの人命と財産が失われるとともに、東京電力福島第一原子力発電所による放射性物質の外部漏洩など深刻な事態が今なお続いている。

このような中、県産品の販路拡大を取り巻く状況は、オンラインショップの普及など販売・流通の形態の多様化が進むとともに、百貨店等での物産展の減少や消費者の買い控え、産地間競争の激化等により、ますます厳しさを増している。

このため、新たな商品開発、既存商品の商品力のアップや、新たな需要の拡大、販路の開拓に、これまで以上に積極的に取り組んでいく必要がある。

一方、中国を中心とした海外市場は、今後一層の需要拡大が期待されるため、引き続き販路拡大を強めていく必要がある。

2 執行体制の強化

自立した経営を行うことができる経済的基盤を確立するため中期経営計画を策定し、新公益法人制度への円滑な移行を図るとともに、販売力強化を目指した執行体制の確立に努める。

(1) 本部は、部制を廃止し、事務局、次長の下に総務課、企画課、営業課を配置し、スリムで機動的な業務体制を組織する。

また、営業を強化するために、営業課に新たに課長補佐2名を配置する。(1名は企画課からの異動、1名は営業課主任からの昇任)

さらに、国内外の販路拡大を統一的に推進するため、従前の貿易課を企画課に統合する。

(2) 総務部門の本部への集中化など業務体制の見直しを行ってきた東京支部においては、一層の業務効率化を今後とも進めていく。

3 事業展開

- (1) 宮崎ブームを経て築いた県産品のブランド力の向上、販路拡大に努める。
- (2) 社会状況の変化に打ち勝ち、安定した販売能力を確保するため、宮崎県優良県産品推奨制度をはじめ、「安全、安心のブランド」をより強調する戦略を今後展開する。
- (3) 県産品の定義の明確化、商品表示の厳密化を通して、県産品としての信頼性を高め、宮崎ブランドの確立・向上に努める。
- (4) 海外戦略としては、消費需要が増加している東アジア地域への輸出促進のため、販路拡大に意欲のある企業の進出や商品の販売を促進するための支援を行う。
- (5) 国内展開については、まず、センターの運営を支えるアンテナショップにおける販売事業の充実・強化を図る。
- (6) みやざき物産館においては、観光客による消費が大きいことから、物産や観光に関する問い合わせに一元的に答える体制の充実を図る。
あわせて、平日や観光閑散期の顧客確保のため、県民をターゲットとした企画・催しを立案し、テレビや新聞などメディアPRに努める。
- (7) アンテナショップ多店舗展開では、東京及び大阪の支部において、それぞれの地域のニーズを把握し、的確な品揃えと地域へのアピール展開を図る。
北部九州地区においては、昨年度の天神みやざき館KONNEの実績を踏まえ、県とともに同地区の今後の展開の可能性を検討する。
- (8) このほか、エコポイント制での販売実績を踏まえ、カタログ販売やオンラインショッピングの充実強化など、時代のニーズにあった販路の形成・拡大を図る。
- (9) 以上のような観点から、個々の物産展や事業の収支を見直し、センターとして公益的使命を果たしつつ、収益力のある事業に重点的に人、物を投入する。
- (10) また、事業の執行に当たっては、事業の必要性、緊急性及び費用対効果に十分に留意し適切な執行に努めるとともに、事務経費の節減に取り組む。

4 会員に対する支援やサービスの充実

- (1) 各アンテナショップでの売上や物産展の開催情報、消費者の意見等を会員へ迅速に提供するよう努めるとともに、会員の販促活動を支援する体制を整備する。
- (2) 平成22年度に口蹄疫問題等で実施できなかった地域会議を開催するとともに、アンケートを実施しセンター事業に対する会員のニーズの把握に努める。

〈平成23年度体系図〉

【受託】は県からの委託事業
【自主】はセンターの自主事業

公益事業

海外

1. 貿易促進事業

【受託】(1) 海外交流駐在員設置事業

【受託】(2) 貿易企業実態調査事業

【受託】(3) 県産品東アジア販路拡大総合推進事業

①宮崎フェアの開催

②商談会の開催

③中国常設棚の設置

④海外見本市への出展

⑤輸出促進セミナー等の開催

⑥輸出企業の組織化等への支援

⑦輸出コーディネーターの配置

【受託】(4) みやざき県産品輸出支援事業

【受託】(5) 上海事務所内装木質化事業

国内

1. 取引促進事業

【受託】(1) 商談会開催事業

【受託】(2) アンテナショップ多店舗展開事業

【自主】(3) 外販機能強化支援事業

2. 商品開発支援事業

【受託】(1) 商品開発事業

【受託】(2) 県産品表示適正化指導事業

【受託】(3) 工芸品商品力育成強化事業

【受託】(4) 工芸品振興コーディネーター設置事業

【自主】(5) 宮崎県優良県産品推奨制度事業

【自主】(6) マーケティングリサーチ事業

3. 物産展開催事業

【受託】(1) 日向自慢みやざき展(高島屋大阪店)

【受託】(2) 宮崎県伝統的工芸品展(宮崎空港ビル)

⑧【受託】(3) 物産展開拓

【自主】(4) 日向自慢みやざき展(高島屋東京店)

【自主】(5) 宮崎の物産と観光展(さっぽろ東急百貨店) など

4. 広報・宣伝事業

【受託】(1) 新宿みやざき館観光案内事業

【受託】(2) 観光振興応援事業(みやざき物産館内)

【受託】(3) インターネット物産館運営事業

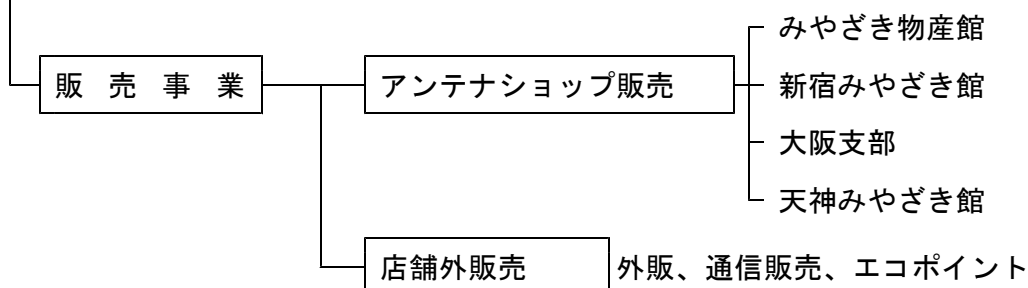
【自主】(4) 伝統的工芸品保護・展示事業

【自主】(5) マスメディア対策事業

【自主】(6) ホームページ整備事業

【自主】(7) センターニュース発行事業

5. アンテナショップ機能維持管理事業
【受託】 (1) みやざき物産館運営事業
【受託】 (2) 新宿みやざき館運営事業
【受託】 (3) 天神みやざき館運営事業
【受託】 (4) アンテナショップ魅力創出事業



平成23年度事業計画（案）

公益事業

《海外》

事業名	内容・開催場所	当初予算額（千円）		時期	受託	自主
		23	22			
貿易促進事業						
海外交流駐在員設置事業	中国（上海）、台湾（台北）	28,688	19,861	通年	○	
貿易企業実態調査事業	アンケート調査	347	437	通年	○	
県産品東アジア販路拡大総合推進事業					○	
宮崎フェアの開催	香港、シンガポール	21,924	21,786	未定	○	
商談会の開催	海外バイヤー招へい商談会			未定	○	
	北京・天津商談ミッション			11月予定	○	
中国常設棚の設置	上海市			通年	○	
海外見本市への出展	フード台北2011			6/22～25	○	
	香港フードエキスポ2011			8/11～13	○	
輸出促進セミナー等の開催				未定	○	
輸出企業の組織化等への支援	輸出企業の販路開拓検討会等への支援			未定	○	
輸出コーディネーターの配置				通年	○	
みやざき県産品輸出支援事業	輸出促進相談員の配置（宮崎本部）	6,649	6,442	通年	○	
上海事務所内装木質化事業		5,000	0	～5/31	○	

新

《国内》

事業名	内容・開催場所	当初予算額（千円）		時期	受託	自主
		23	22			
取引促進事業						
商談会開催事業	東京、大阪、福岡など	14,015	47,376	通年	○	
アンテナショップ多店舗展開事業	営業推進員の配置 (宮崎本部)			通年	○	
外販機能強化支援事業				通年		○
商品開発支援事業						
商品開発事業	県産品アドバイザーによる 商品開発指導	14,246	27,214	随時	○	
県産品表示適正化等指導事業	食品表示指導員の配置 (宮崎本部)			通年	○	
工芸品商品力育成強化事業	専門家による個別指導、商 談会への出展など			通年	○	
工芸品振興コーディネーター設 置事業	工芸品振興コーディネー ター配置(宮崎本部)			通年	○	
宮崎県優良県産品推奨制度				通年		○
マーケティングリサーチ事業	商品ハガキアンケート等			通年		○
物産展開催事業						
第22回日向自慢みやざき展	高島屋大阪店	21,811	37,832	H24. 1/11～16	○	
宮崎県伝統的工芸品展	宮崎空港ビル			年1回	○	
新 物産展開拓	東京、大阪、福岡			随時	○	
第24回日向自慢みやざき展	高島屋東京店			8/31～9/5		○
第20回南の国宮崎の観光と物産展	さっぽろ東急百貨店			6/16～6/22		○
第51・52回楠並木KONNE市	県庁前楠並木通り			年2回		○
ひむか市場味くらべ	宮崎空港ビル			年1回		○
第14回宮崎県産品まつり	宮崎山形屋			H24. 2/15～20		○
大九州展	小田急新宿店			年1回		○
東京自主催事				随時		○
大阪自主催事				随時		○
その他催事				随時		○

事業名	内容・開催場所	当初予算額(千円)		時期	受託	自主
		23	22			
広報・宣伝事業						
新宿みやざき館観光案内事業	観光相談員の配置(新宿みやざき館)	21,495	26,810	通年	○	
観光振興応援事業	観光・物産情報ガイド (みやざき物産館)			通年	○	
インターネット物産館運営事業				通年	○	
伝統的工芸品保護・展示事業				未定		○
マスメディア対策事業	新聞、TV等でのPR			随時		○
ホームページ整備事業	データ保存、保守、点検等			通年		○
センターニュース発行事業				通年		○
地域会議開催事業	地域会議の開催	500	1,298	通年		○
アンテナショップ機能維持管理事業						
みやざき物産館		19,998	25,865	通年	○	
新宿みやざき館				通年	○	
天神みやざき館				通年	○	
アンテナショップ魅力創出事業	みやざき物産館の改装	11,000	0	~4/30	○	
予算合計		165,673	214,921			

販売事業

○売上目標

店舗名等	23年度(目標)	22年度(目標)
アンテナショップ販売		
みやざき物産館	370,000	647,000
新宿みやざき館	340,000	410,000
大阪支部	11,000	11,000
天神みやざき館	1,200	26,400
(合計)	722,200	1,094,400